令和 8 年度　第 2 回山梨支部評議会　議事概要

開　催　日　　令和 8 年 10 月 19 日（月）14：00～15：30

開 催 場 所　　山梨支部会議室

出席評議員　　稲田評議員(◎)･小澤評議員･河野評議員･根津評議員(委任状)･野沢評議員･
野村評議員･豊前評議員･堀之内評議員(五十音順)
◎：議長

議　　題　　1. 令和 9 年度保険料率について
2. 中期戦略プラン（案）について
3. 支部戦略プラン策定について

議 事 概 要
（主な意見等）

議題 1. 令和 9 年度保険料率について

事務局から資料に基づき説明。
質疑・意見は以下のとおり。

【被保険者代表】
短時間労働者等への被用者保険適用拡大に伴う財政負担の考え方について、確認したい。
【事務局】
被扶養者から被保険者へ移行することにより、傷病手当金や出産一時金等の保険給付費などの支出が増加すると見込んでいる。

【被保険者代表】
（過去に公表した５年収支と実績を比較した）当日追加資料について、どのようなことが明らかになったのか説明してほしい。
【学識経験者代表】
この当日追加資料は、あくまで平均保険料率を１０％に維持してきたことによる財政面への効果を示す趣旨で作成されたものと思慮するが、よろしいか。
【事務局】
貴見のとおり。

【学識経験者代表】
昨年末の財務大臣と厚生労働大臣の大臣折衝において、今後の国庫補助については令和 10 年度までに検討を行い、結論を得るとされていることから、国庫補助率が引き下げられる可能性を危惧して

いる。国庫補助についての協会けんぽの考えを伺いたい。
【事務局】
現在は6.5兆円の準備金を保有しているが、本年9月の運営委員会でお示しした協会けんぽの中期財政見通しにおいては、現行の平均保険料率 9.9%を維持した場合であっても、ケースによっては 5年以内に単年度収支が赤字となる見込みとなっており、今後の協会財政の見通しは楽観視できないものと考えている。
協会としては、中長期的に安定的な財政運営を目指すという基本的な方針に基づき、今後とも国への状況説明を丁寧に行いながら、必要な国庫補助が確保されるよう要請していきたいと考えている。

【学識経験者代表】
リスク投資を行う生命保険会社と協会けんぽでは、その性質が大きく異なるため、ソルベンシー比率を参考とすることは適切でない。
【事務局】
ご意見として承る。

【事業主代表】
今後の収支見通しでは、賃金上昇を前提とした試算となっているが、将来的に賃金が上昇するとは限らないことから、賃金が上昇しない場合の試算も必要ではないか。
【事務局】
ご意見として承る。

【事業主代表】
今後15年間の機械的試算を見る限り、保険料の引き下げは難しいと感じている。
【被保険者代表】
平均保険料率については、9.9%維持でお願いしたい。
【被保険者代表】
現役世代が将来世代の保険料負担の増加を抑制するために、相対的に多くの保険料を負担する構造となっているため、平均保険料率の引き下げを検討してもらいたい。

議題2. 中期戦略プラン（案）について

事務局から資料に基づき説明。
質疑・意見は以下のとおり。

【学識経験者代表】
けんぽアプリのダウンロード数について、確認したい。
【事務局】
累計ダウンロード数は10万件を超えているが、支部のダウンロード数は把握できていない。

【被保険者代表】
電子申請の利用率について確認したい。
【事務局】

８月末時点での山梨支部の電子申請利用率は、14.7%となっており、全国平均を上回っている状況である。傷病手当金の申請が全体の4割ほどを占めている。

【学識経験者代表】
これまでのアクションプランで明らかになった主な課題と、それらが今回の中期戦略プランにどのように反映されているのか、説明してほしい。
【事務局】
加入者の健康の保持、増進を基本として、健診受診率の向上、保健指導、重症化予防及び医療費適正化に関する課題を引き継ぐとともに、各支部の課題についても中期戦略プランに反映し、今後3年間の計画に基づき取り組んでいく。

議題3. 支部戦略プラン策定について

事務局から資料に基づき説明。
質疑・意見は特になし。

【被保険者代表】
減塩対策の検討にあたり、塩分摂取量が少ない都道府県の取り組み事例や食事レシピを広報の参考にしてはどうか。
【事務局】
ご意見として承る。

【被保険者代表】
支部の重点課題には選定されていないが、メンタル不調者の休業等も増加しているため、メンタルヘルスの支援や事業の充実をお願いする。
【事務局】
ご意見として承る。

特記事項
次回の開催予定（令和8年12月予定）を説明。
傍聴者1名